

## 2026 年 社長年頭挨拶(要旨)について

山陽特殊製鋼株式会社（社長 福田和久、本社 兵庫県姫路市）は、2026 年 1 月 5 日(月)に始業式を挙行いたしました。始業式における社長挨拶の内容(要旨)は以下のとおりです。

昨年を振り返ると、社会・文化・政治・経済が大きく揺れ動いた一年であった。「大阪・関西万博」が開催され、政界では日本史上初の女性首相が誕生するなど、大きな歴史的転換点となった。当社においては、昨年 4 月に日本製鉄の完全子会社となった。そのねらいは、厳しい事業環境下においても当社が生き残っていくために、日本製鉄との協力関係をより強固なものとし、収益機会の拡大、グローバル事業や高付加価値品戦略の強化、カーボンニュートラルの取り組みの加速により、当社の企業価値を高めることにある。

足元のわが国の国内経済は緩やかに回復をしているものの、力強さに欠けており、各国の保護主義の影響で依然として不透明な状況が続いている。

特殊鋼業界では、国内市場の縮小や構造変化が確実に起こっており、諸コストの上昇も続いている。中国の膨大な鉄鋼供給も全く収まらず、海外メーカーとの競争激化など厳しい状況にある。

ここで、1 年の始まりにあたって皆さんに 4 つのことをお願いしたい。

まずは安全と健康。総合完全無災害の目標達成に向け、『「いつものこと」が事故の序章 いつもの作業に潜む、いつものリスクを抽出し、自らの未来を守る安全最優先行動の推進』との今年のスローガンのもと、「リスクコミュニケーションの充実と推進」、「凡事徹底 9 項目の確実な遵守の再徹底」、「安全ナビゲーター活動の推進」の取り組みを推進していただきたい。災害は職場の弱いところで起こる。災害を減らすには、人も含めた底上げと、そこに焦点を当てた活動が必要である。ベースの活動に加え、手を付けていなかったところ、ベテランが常識と思っていたところ、危ないと分かっていたが、案がなくそのまま棚上げになっているところなどに、徹底的にソフト・ハード両面の対策を打っていくとともに、自分の職場の弱いところに焦点を当てた特別活動に取り組んでいただきたい。さらに、心身ともに健康であるためには、日々の積み重ねが大事である。禁煙への取り組みのほか、ウォーキングイベントや健康チェックイベント等への参加を通じ、自身に合った健康管理方法を見つけ、習慣づけ、健康維持に努めていただきたい。

2 つ目は、安定的な収益を確保できる盤石な企業体質を確立すること。DX の活用や一層の職場活力発揮、課題達成への精力的な取り組みによって、ひとり一人の労働生産性と付加価値を抜本的に高めていかなければならない。並行して、需要回復分野の確実な捕捉・拡大と値上げを含めたマージン維持・改善の両立を図るとともに、より収益性の高い分野へのポートフォリオ改善に向けた高付加価値品の強化・拡大、シナジーの更なる積み上げに向けた日本製鉄グループとの連携強化等を推進し、高付加価値化とグローバル化による当社の今後の成長に向けた礎を築かねばならない。

3 つ目は、日本製鉄グループとのさらなる連携によるシナジー発揮に向けて、全社一丸となって取り組んでいくこと。日鉄グループ全体での最適生産によるコスト削減や、当社単独での固定費低減効果を最大限発揮するため、両社一丸となって取り組む必要がある。当社の強みを最大限に活かし、余力を活用した最適生産を追求していく。その実現には、コスト競争力、現場マネジメント力、商品力、そして技術力が不可欠であり、これらをさらに磨き、「世界 No. 1 の特殊鋼メーカー」を目指し、新たな収益の柱を共に築いていきたい。

4 つ目は、社員全員が本当の仲間となり、役職の上下、組織の垣根にかかわらず、本音で議論し、一人ひとりがベストを尽くし、力を合わせるベクトルのそろった組織にしたい。そのためには、お互いの意見をよく聞き、よく考え、気持ち良く仕事ができる職場を目指す必要がある。お互いざっくばらんに会話し、全社一丸となって変化の激しい時代を共に乗り切っていこう。

最後に、皆さんならびにご家族にとっても素晴らしい一年となることを祈念し、年頭のあいさつとする。  
ご安全に！

山陽特殊製鋼株式会社  
代表取締役社長 福田 和久